

褒 狀

日滿興産博覽會審査委員長
北海道廳技師正五位勳五等梁田參
右審査ノ結果優良品ト認めタルニ依
リ前記ノ褒賞ヲ授與ス

昭和九年八月二十日

日滿興産博覽會
會長旭川市長正六位
渡邊勘一
總裁北海道廳産業部長 從五位
勳六等 奥田茂造
日滿興産博覽會
長之印
日滿興産博覽會
總裁之印

540mm × 375mm

感 謝 狀

本會ノ趣旨ヲ翼賛シ前記ノ優秀機
具ヲ出品シ一段ノ光彩ヲ添ヘラタ
リ依テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

昭和九年八月二十日

日滿興産博覽會
會長旭川市長
正六位 渡邊勘一
總裁北海道廳産業部長
從五位 勳六等 奥田茂造
日滿興産博覽會
長之印
日滿興産博覽會
總裁之印

375mm × 270mm

感 謝 狀

本會ノ事業ヲシテ豫期以上ノ成功
ヲ收メ得タルハ終始熱誠會務ニ翼
賛セラレタル貴下ノ力ニ負フ處尠
ナカラス依テ深甚ナル感謝ノ意ヲ
表ス

昭和九年八月二十日

日滿興産博覽會
會長旭川市長
正六位 渡邊勘一
總裁北海道廳産業部長
從五位 勳六等 奥田茂造
日滿興産博覽會
長之印
日滿興産博覽會
總裁之印

385mm × 270mm

宣 傳

世は宣傳の時代である、現今社會が急テンポで變轉複雑化して行く現代に於ては一層宣傳に主力を注がねばならぬ事は云ふまでもない而かも今日の如く宣傳に對する大衆の意識が硬直されて居る時代に於ては平凡な宣傳では到底効果を擧げ得る事は困難である

よつて本會に於ては此の點に充分注意を拂ひ最少の費用で最大の効果を期する最も合理的な方法に努めた
先づ宣傳の期間を三期に區分して廣く全道的に日滿興産博覽會の概念をうえつける爲の地方宣傳を第一期とし會期前地方人に積極的誘引策を講ずる爲の宣傳を第二期とし會期中に於ける特發的なる開催物の宣傳或は情報新聞記事を第三期とし宣傳係員必死の勢で宣傳に努めた
以下項を逐ふて大要を叙述する事とする

第 一 期 宣 傳

概括的な宣傳方法として關係諸官廳各市町村商工會議所公私團體道内各停車場へポスターを配付したり

之より
宣傳兼
典日に
對する
を各戸
期
自六月
至六月

滿興産博覧會
會場案内
旭川市 會場

別多 三牛(上)原、天香
添度 泊 幌片富 女、幕

親鸞聖人太子御一代記大シオラマ開公
期自八月一日起至八月三十日
會場 第二會場内特別館
寺願本東川旭 會覽博産興滿日

載半判六四
一タスポ

之より
宣傳兼
典日に
對する
を各戸
期
自六月
至六月

會場案内

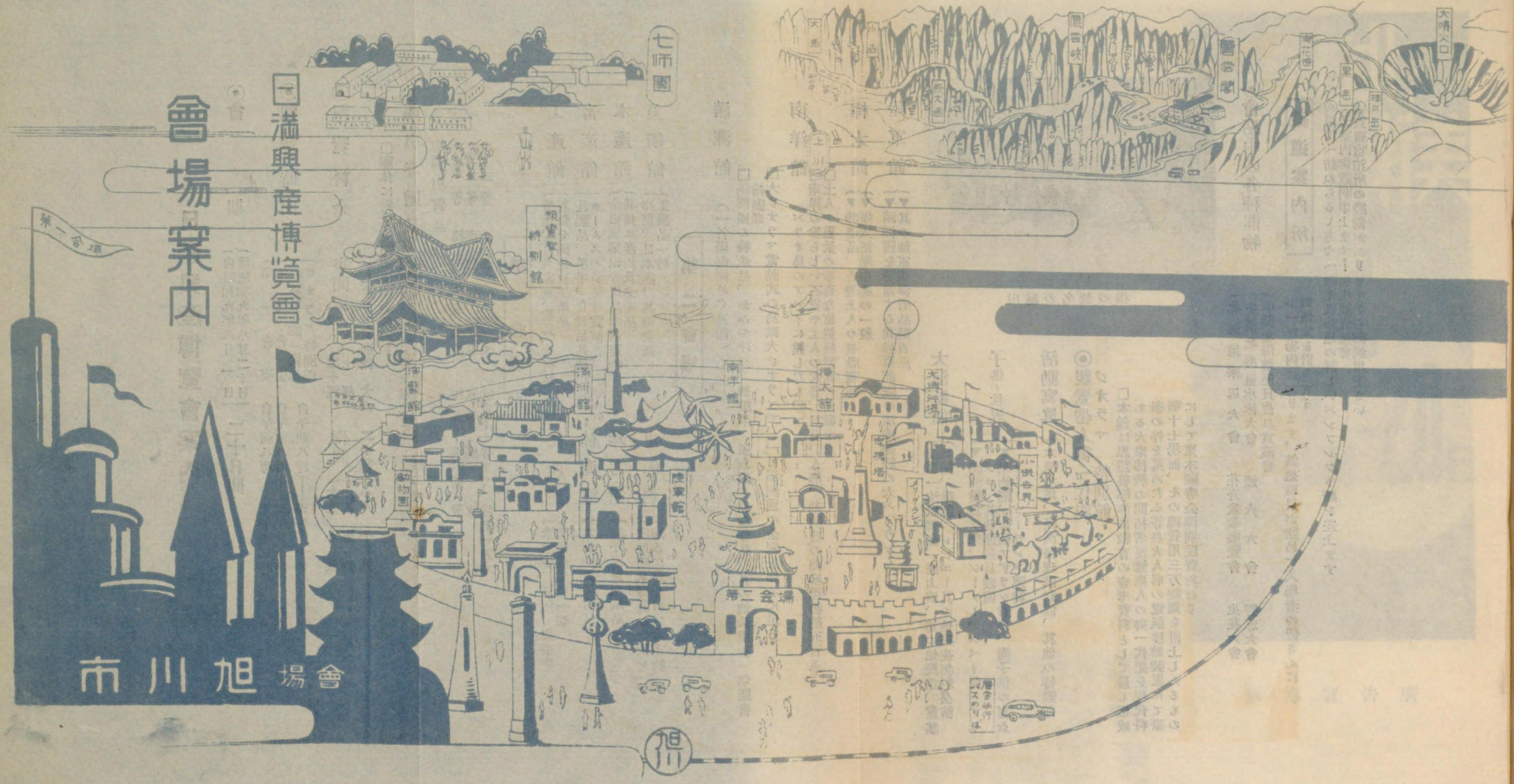
日滿興産博覧會

旭川市會場

七師團

特選人
特別館

旭



香天
原、女
富、女
上、女
牛、女
三、女
泊、女
多、女
別、女
添、女

日滿興産博覽會案内

會期 〔自昭和九年八月二十日〕二十日間
〔至昭和九年八月二十日〕

●觀覽時間
第一會場 自午前八時—至午後五時
第二會場 自午前八時—至午後十時
親鸞聖人御一代記 自午前八時—至午後十時
シオラマ特別館

●觀覽料金
晝間 〔大人二十錢 小人十錢〕
夜間 〔大人五十錢 小人十錢〕
シオラマ特別館

●福引券贈呈 〔前賣券には福引券を差上ります
但し大人券一枚に付一枚 小人券二枚に付一枚〕

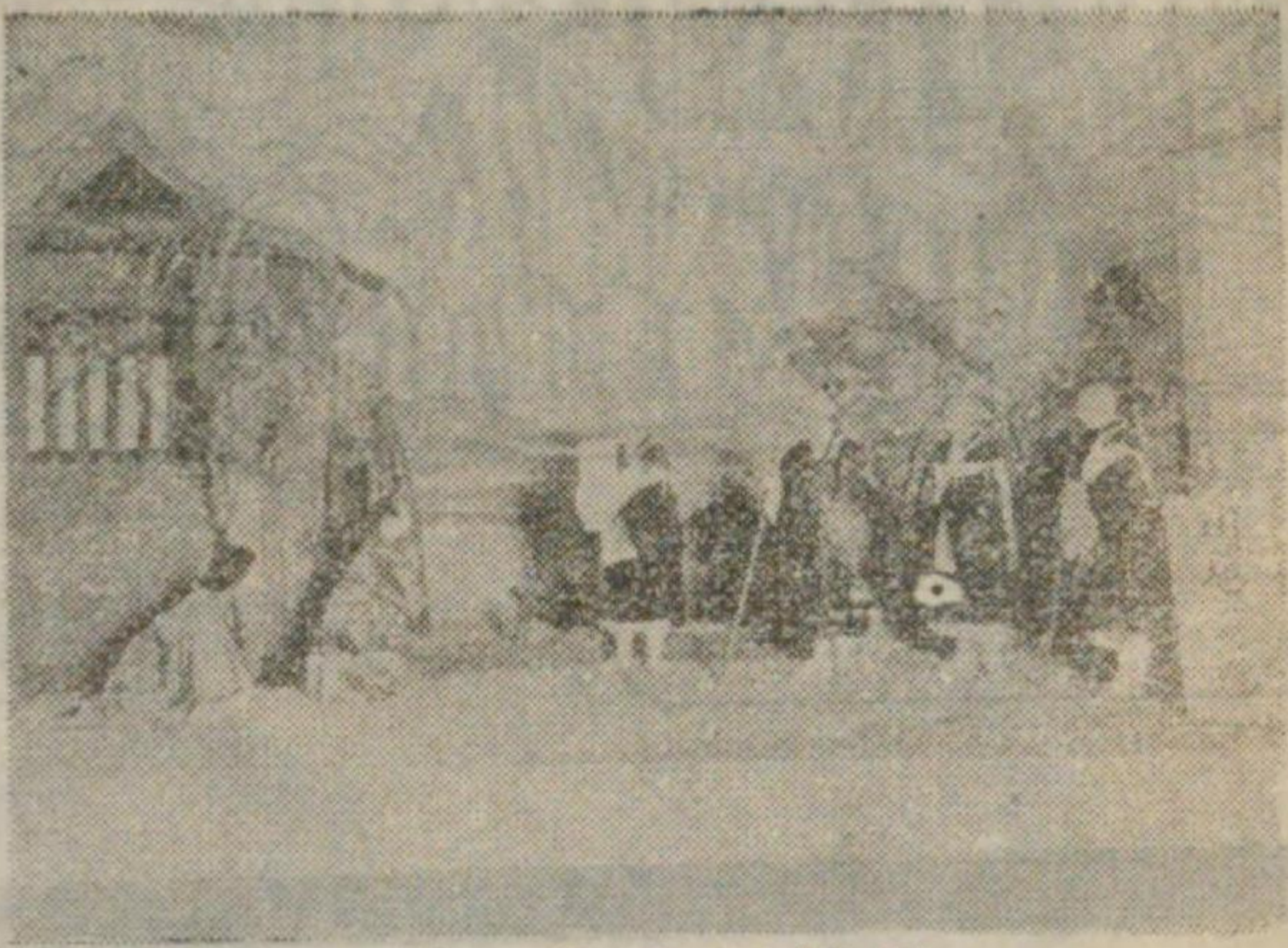
□福引賞品
一等 總桐三重單箭
二等 高級自轉車
三等 上等白米
◎以下十等まで 總計一萬本

第一會場

- 工業館 〔機械、器具、家具、農具、食料品 其他全國優良工業品〕
- 畜産館 〔乳製品、羊毛、食糧品其他 ホイムスパン製作實演〕
- 水産館 〔全道漁業組合出品の海産物 其他水産物及參考品〕
- 美術館 〔洋畫、日本畫、其他美術 工藝品一般〕
- 農産館 〔米、麥、豆類、蔬菜類 其他農産物一切〕
- 林産館 〔茶産物及參考品〕
- 參考館 〔道外優良生産品〕
- 史館料 〔前世紀北海道の全貌を知るに足る古代珍重物〕

第二會場

- 滿洲館 〔一名滿洲國めぐり館〕
□滿洲國の特産品、おみやげ品、被服類、家具類、兒童作品、其他珍重物一切圖書繪畫類
□大シオラマ電動式の鳥瞰大シオラマで、一目滿洲國の全貌を知るに足る
- 南洋館 〔パラオ島のアバイに模したもの〕
□南洋の珍しい石貨や上人の武器、玩具、人形、動物其他珍重物約五百点
□土人や風景の珍奇な寫真模型其他他教十数点
- 樺太館 〔特産品、各種土人の被服寶物 樺太拓殖事業の一般〕
- 陸軍館 〔滿洲國を警備する我杉原部隊の活躍動靜の大パノラマ 其他他軍事參考品數百点〕



越川の號名の場

- 大演藝館 〔帝都一流歌舞劇一座上演、其他他民謡、童謡 舞踊、歌劇、レビュウ其他他晝夜無料公演〕
- 子供の世界 〔滿洲驢馬試乗、シーソー、スベリ台、プラシコ、其他運動具設備〕
動物園、珍藝アザラシ君出、園子供の喜ぶメリイゴリラランド運轉
- 活動寫真 〔大噴水塔、滿洲料理試食館、其他の特設館〕
- 親鸞聖人御一代記 特別館 〔シオラマ〕
□本館は思想善導前に教育の参考資料として最も權威ある大衆佛教の開拓者親鸞聖人の御一代記を現代科學の粹を蒐めたる等身大人形の電氣移動裝置にて豪華十七場面、その總費用三万餘圓を計上したるものにして東本願寺金澤別院寶物なり

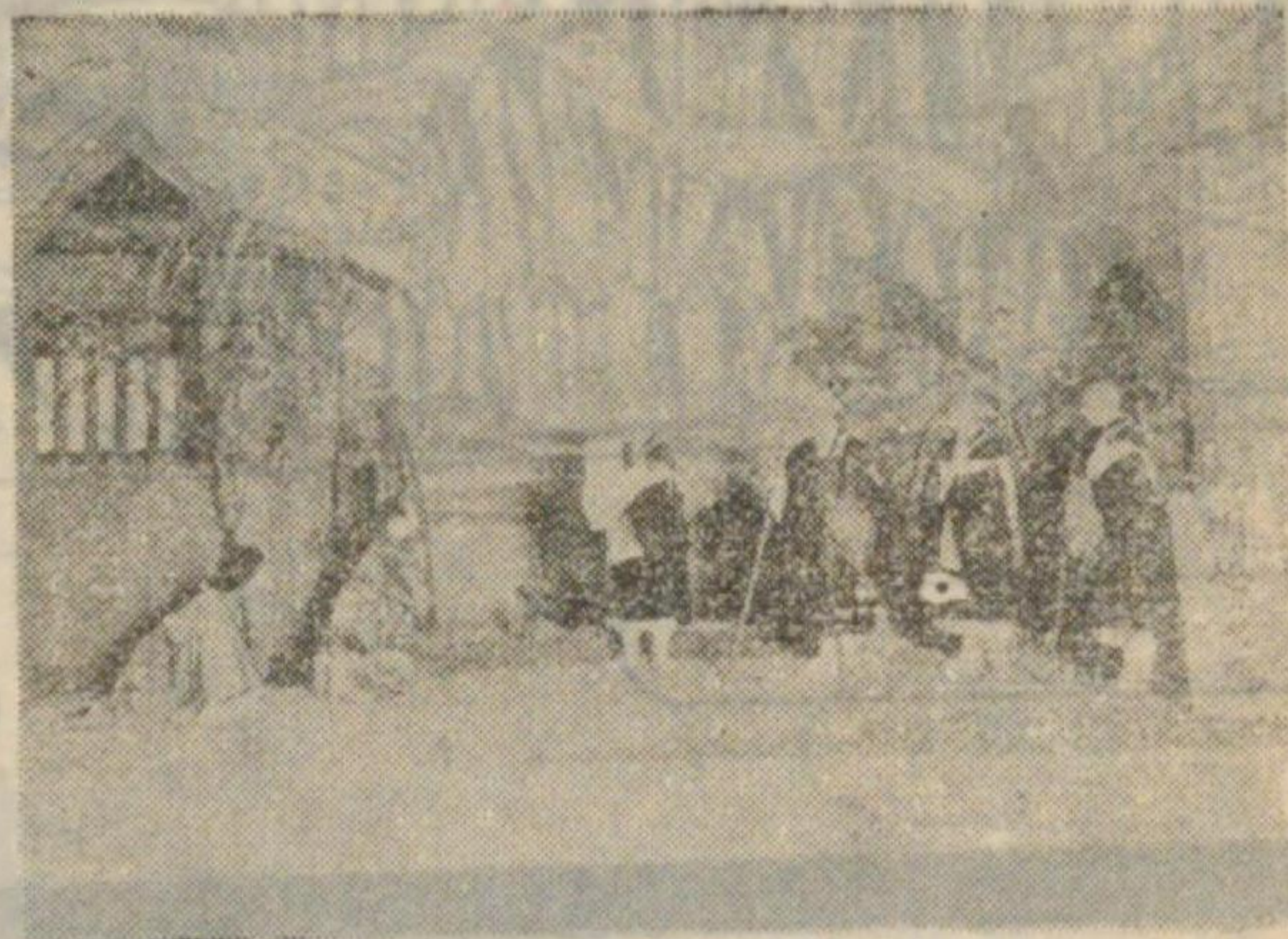
會期中の各種催物

鐵道案内所

◎旭川へ訪ねらるゝ方々へ觀光勝地の詳しいパンフレット類を差上ります
又案内御説明申上ります！旭川觀光協會
◎實費宿泊所の設備がありますから御利用下さい

北海道乗馬大會 花卉盆栽展覽會 生花大會
中部北海道水泳大會 煙火大會 野球大會
中部北海道優良農具實演會
第一會場内にあります、鐵道職員が詰めて入場者の皆さんに御便宜を計ります

樺太館
樺太拓殖事業の一般
陸軍館
滿洲國を警備する我杉原部隊の活躍動靜の大パノラマ
其の他軍事參考品數百点



川越の名號の場

大演藝館

帝都一流歌舞劇一座上演、其の他民話、童話、舞踊、歌劇、レビュー、其の他晝夜無料公演

子供の世界

滿洲驢馬試乗、シソー、スベリ台、アラシコ、其他運動具設備、動物園、珍藝アサラン君出、園子供の喜ぶメリイゴランゴランド運轉

活動寫眞

大噴水塔、滿洲料理試食館、其他の特設館

親鸞聖人御一代記
ジオラマ 特別館

本館は思想善導前に教育の參考資料として最も權威ある大衆佛教の開拓者親鸞聖人の御一代記を現代科學の粹を蒐めたる等身大人形の電気移動裝置にて豪華十七場面、その總費用三万餘圓を計上したるものにして東本願寺金澤別院寶物なり

會期中の各種催物

鐵道案内所

旭川へ訪ねらるゝ方々へ觀光勝地の詳しいパンフレット類を差上ります
又案内御説明申上ります！旭川觀光協會
實費宿泊所の設備がありますから御利用下さい

北海道乗馬大會 花卉盆裁展覽會 生花大會
中部北海道水泳大會 煙火大會 野球大會
中部北海道優良農具實演會
第一會場内にあります、鐵道職員が詰めて入場者の皆さんに御便宜を計ります

北海道美術展覽會
旭川市
8月1日-20日
旭川會場

廣告宣傳板

第二期宣傳

之よりいよゝ本格的宣傳に入る先づ主なる方法としては
宣傳兼出品勧誘の爲出張宣傳し尙主要近町村十數ヶ町村祭
典日に係員を出張せしめ役場學校等各團體を訪問し宣傳に
對する一般の注力方を依頼しパンフレット、リーフレット
を各戸及群衆に配布した

出張明細録

期 間 日程 氏 名 出 張 先
自六月二十一日 九日 田 邊 帶廣、池田、野付牛、美幌、
至六月二十九日 網走、根室、釧路、富良野

自六月二十三日	至六月二十六日	四日	松 木
自六月二十七日	至六月三十日	五日	須 野
自六月三十一日	至七月三日	五日	竹 須
自六月三十一日	至七月三日	五日	永 藤
自六月三十一日	至七月三日	五日	藤 永

中愛別、愛別、比布、伊香牛、安足間、上川、層雲峽、天幕、中越、上越、遠輕、下生田原、上生田原、ルベシベ、野付牛、美幌、女、滿別、網走、津別、紋別、邊別、美瑛、上富良野、富良野、奔茂尻、野花南、上、別、平岸、茂尻、上赤平、幌、倉、滿川、江部乙、妹背牛、羽幌、沼田、留萌、増毛、三泊、鬼鹿、苫前、小平、納内、深川、一己、音江、多度、志、成晃、幌加内、雨煙別、添、牛内

自六月二十七日 至六月三十日	四日 對	馬	布部、山部、下金山、金山、鹿越、幾寅、伏古、落合、新得、清水、芽室、帶廣、御影
自六月二十九日 至七月三日	五日 工	藤	砂川、奈井江、神威、歌志内、美唄、美唄炭山、幌内、岩見澤、幾春別、栗山、由仁、追分、夕張
自七月十日	九日 森	岡	和寒、劍淵、士別、上士別、温根別、多寄、風連、名寄、美深、温根内、音威子府、稚内、濱頓別、下頓別、中頓別
自七月十一日	二日 千	葉	東鷹栖、比布
自七月十二日	二日 池島、清住	當麻、上川	
自七月十三日	二日 小	形	東旭川、當麻
自七月十三日	二日 佐	藤	鷹栖、江丹別
自七月十三日	二日 伊藤、田邊	劍淵、士別	
自七月十四日	一日 三	澤	永山村
自七月十四日	一日 松	木	東川村
自七月十四日	一日 藤	澤	神居村
自七月十五日	二日 幸	田	神樂
自七月十七日	一日 竹野、濱田	留萌	
自七月二十二日	一日 渡邊、鈴木	石狩沼田	
自七月二十五日	一日 三澤、山本	美瑛	
自八月二日	三日 松林、丸山	比布、風連、名寄	

又此の期に於ては市民一般に周知せしめる爲パンフレットリーフレットを各戸に配付する外各種團體に於て行ふ催物宣傳ビラ及驛構内呼賣當掛紙に本會宣傳スタンプを押捺した又停車場前に宣傳塔を建設し案内所を設置し旅行者に一般の刺戟と便宜を與へた

第三期宣傳

會期中左記各種催物毎に各新聞紙に記事掲載を依頼すると共に宣傳ビラを作製し配付せり

日	程 曜日	催 物	主 催 者
自一日至四日	盆踊	シ	上川、旭川兩教育會北都佛教團共催
三	日	金 第一回懸賞募集	
四	日	土 全道佛教聯盟大會	北海道樺太佛教青年聯盟
五	日	日 花火大會	旭川 新聞社
六	日	月 第一回美術デー	旭川民議聯合會
七	日	火 全道寫真師大會	北海道 旭川市寫真師
八	日	水 變裝美人探シデー	
八日・九日		全道方面委員大會	北海道廳、旭川市
十日・十日		全道社會事業大會	旭川市 後援
十二日		全道弓道大會	旭川 弓道會
十二日		全道軍用犬訓練大會	

十二日	日	變裝美人探シデー	旭川市 第七師團
十二日	日	第二回美術デー	
十三日	月	大慰靈祭	
十四日	火	熊祭り	
十五日	水	釜醬油宣傳懸賞募集	ヤマサ會
十五日・十六日		全道民議演大會當選披露	
十六日・十八日	金	全道稅務研究會	旭川市、上川支廳
十七日	土	新内流シノ夕	
十八日	土	全道御詠歌大會	
十八日	土	變裝美人探シデー	
自十八日	日	美術祭	
自十九日	日	拳闘大會	旭川拳闘協會
自二十日	日	福引デー	
自二十日	月	盆踊	第二會場内佛教青年會

新聞

現代生活の觸手は新聞である複雑な生活に生き現代人は新聞紙によつてのみ社會性をおびることが出来る故に新聞紙をして單なる社會現象の報導者乃至輿論の醸成機關とするのは謬れるも甚だしい
過去に於ける新聞紙が文化の創造者であり誘導者であつた如く將來に於ても亦より正しき指導者であらねばならぬ、少く共一部の新聞人が抱懐する對職業意識や對讀者觀念は

觀覽

一、徽章及入場券

本會規程に従ひ入場者整理の目的を以て發行したる徽章、入場券、門鑑等の種別は左の如くである

一、徽章

本會役員並に關係者に對し會場の出入を自由ならしむ

る爲に一定の徽章を作製し之を佩用することとした
徽章は雛形に示せる通り甲乙の二種に区分し左の通り配
付した

甲種徽章 役員、職員
乙種徽章 看守、守衛

二、優待券

一回限り有効の第一、第二共通優待券を發行し本會功勞
者に贈呈した

三、前賣入場券

優遇の意味に於て福引券を添付し會期前一定の期間を定
め發賣した料金は大人金二十錢小人金十錢にて第一、第
二、會場共通とした

四、入場券

本會規則第二十七條による入場料を支拂つたものに對し
交付したもので第一、第二會場共通券及單獨券とし更に
之を大人と小人に區別した

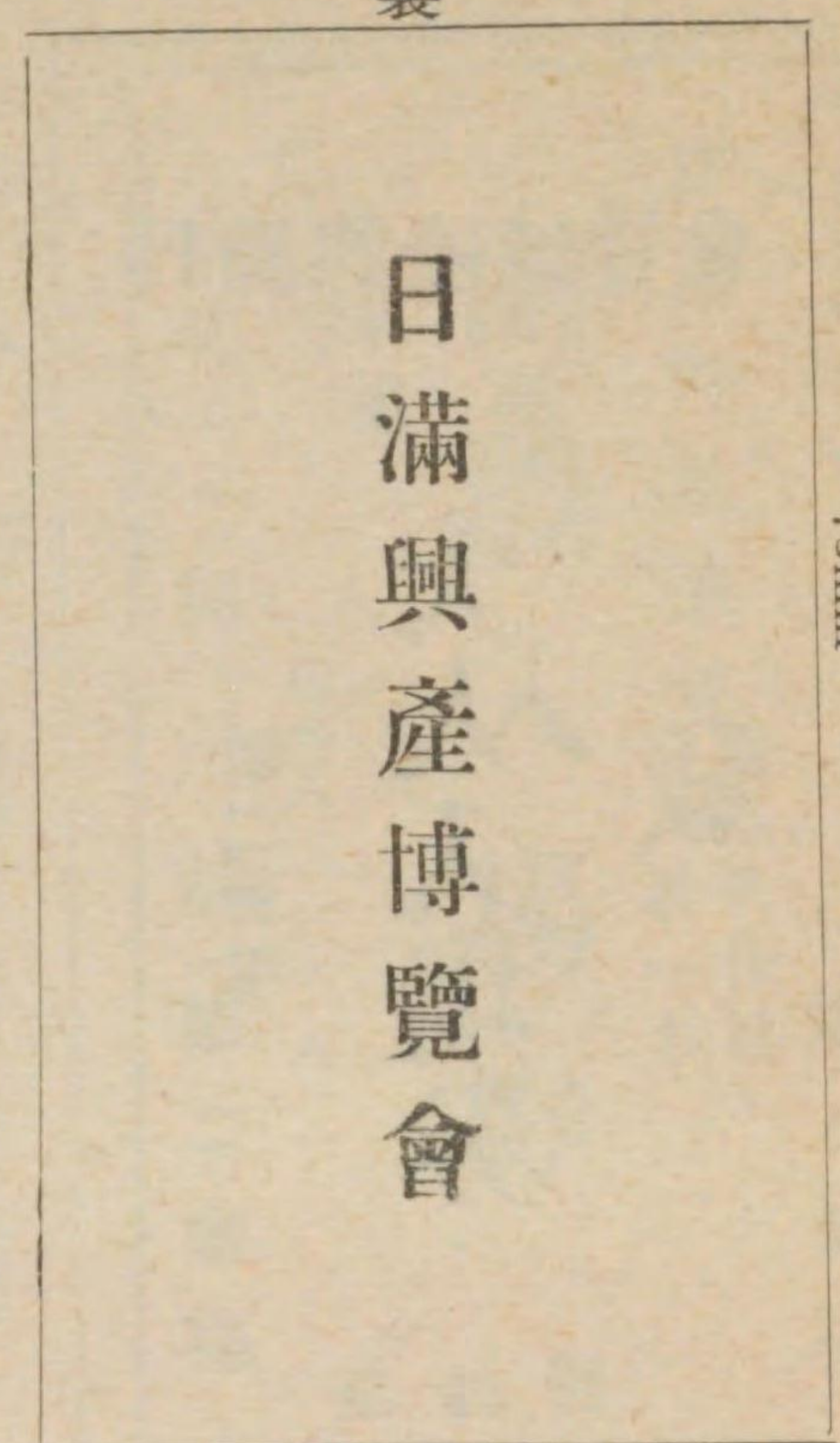
五、團體入場券

教員の引率せる二十人以上の學生、生徒に對し本會觀覽
料割引規程に依り交付したものである

六、門鑑

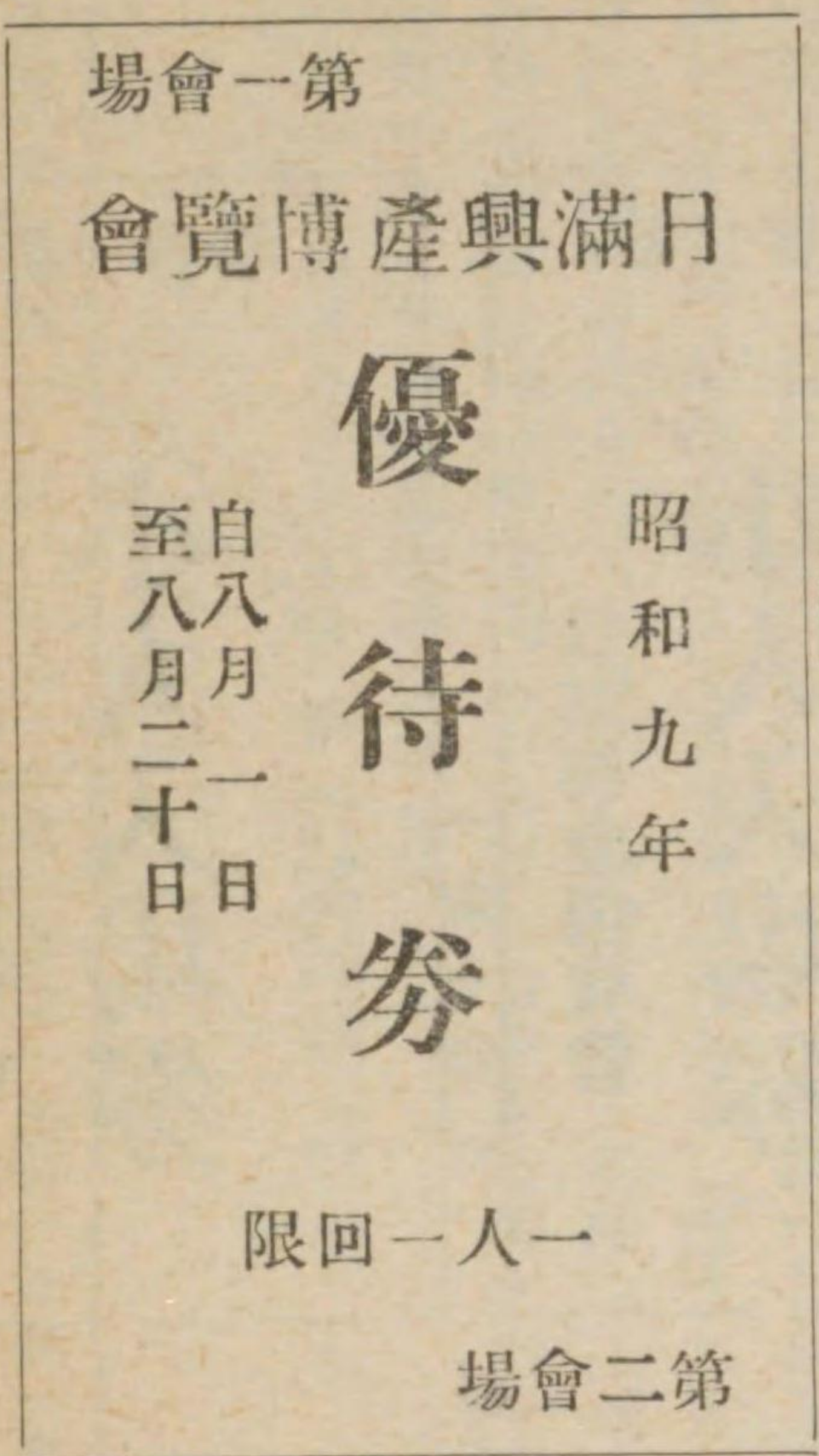
會場内の營業、出品休憩所等の關係者に會期中使用せし
むるため交付したものである

裏



75mm

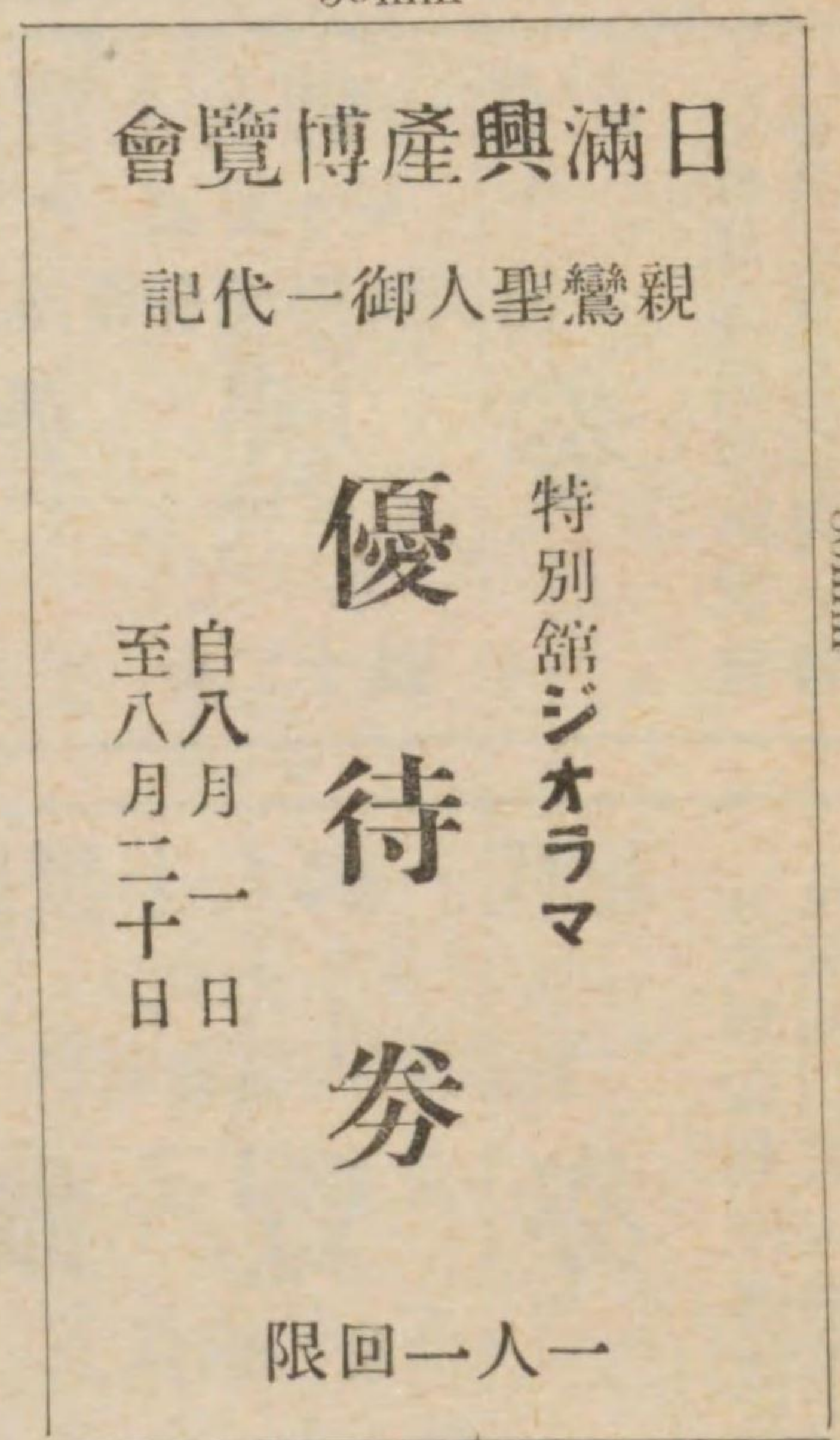
52mm



90mm

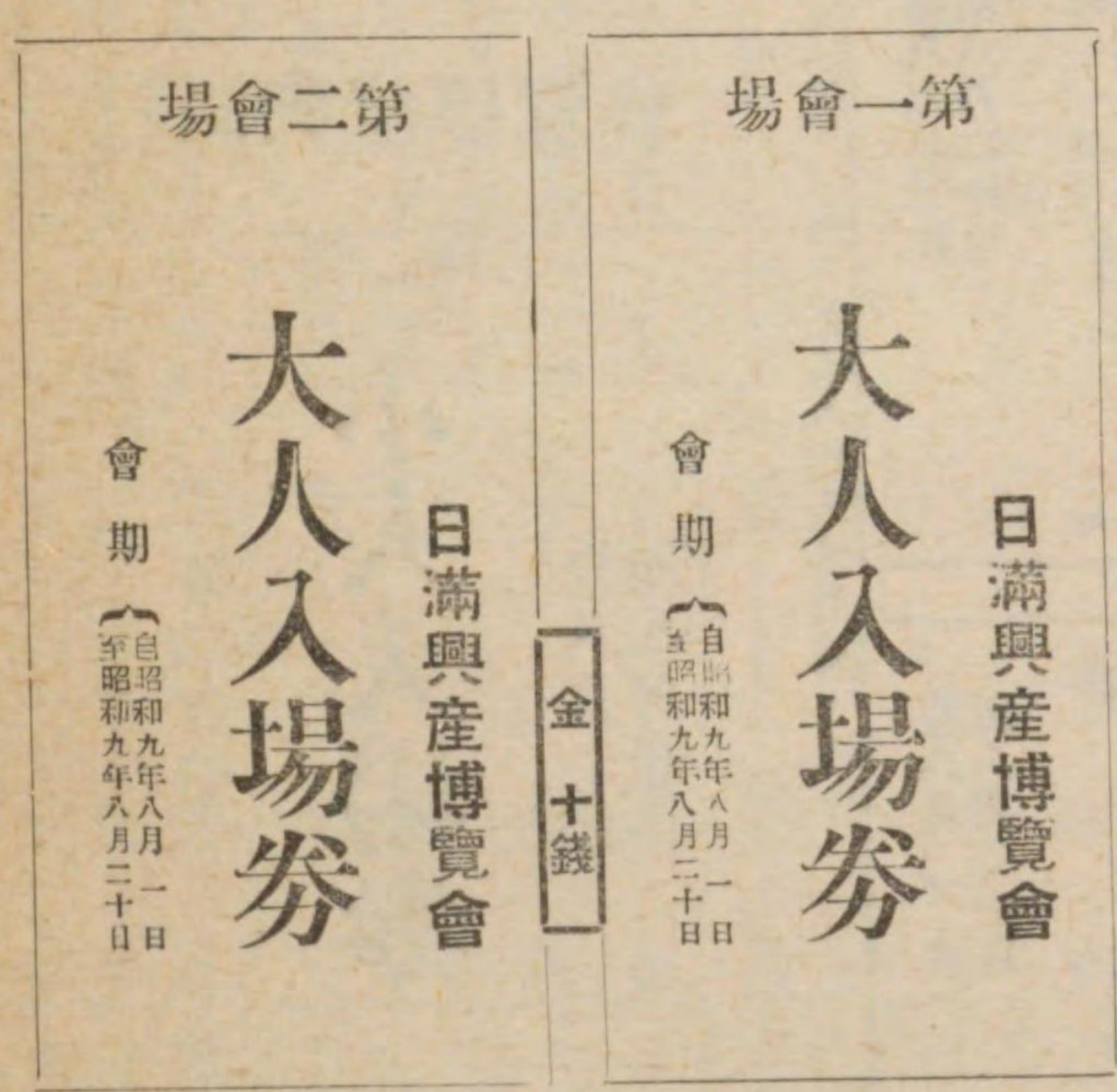
61mm

55mm



80mm

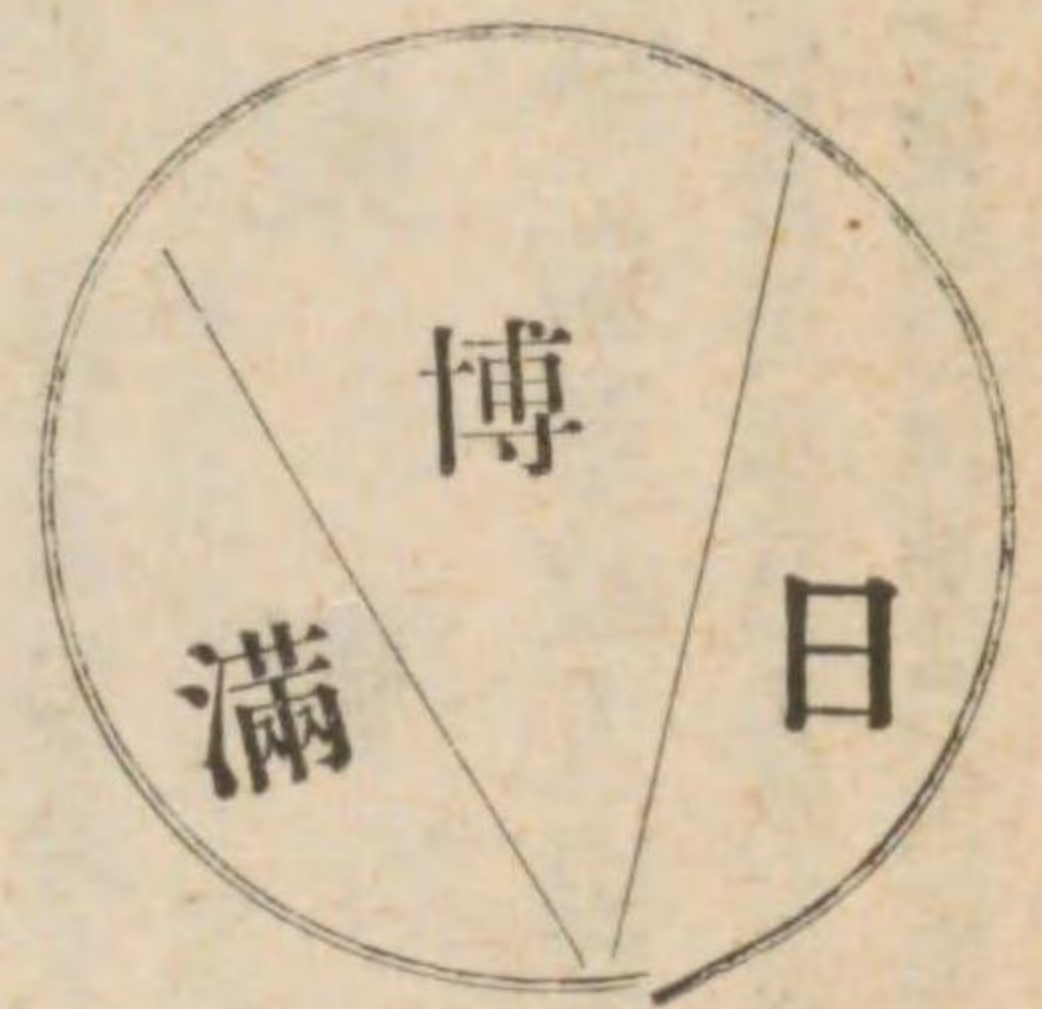
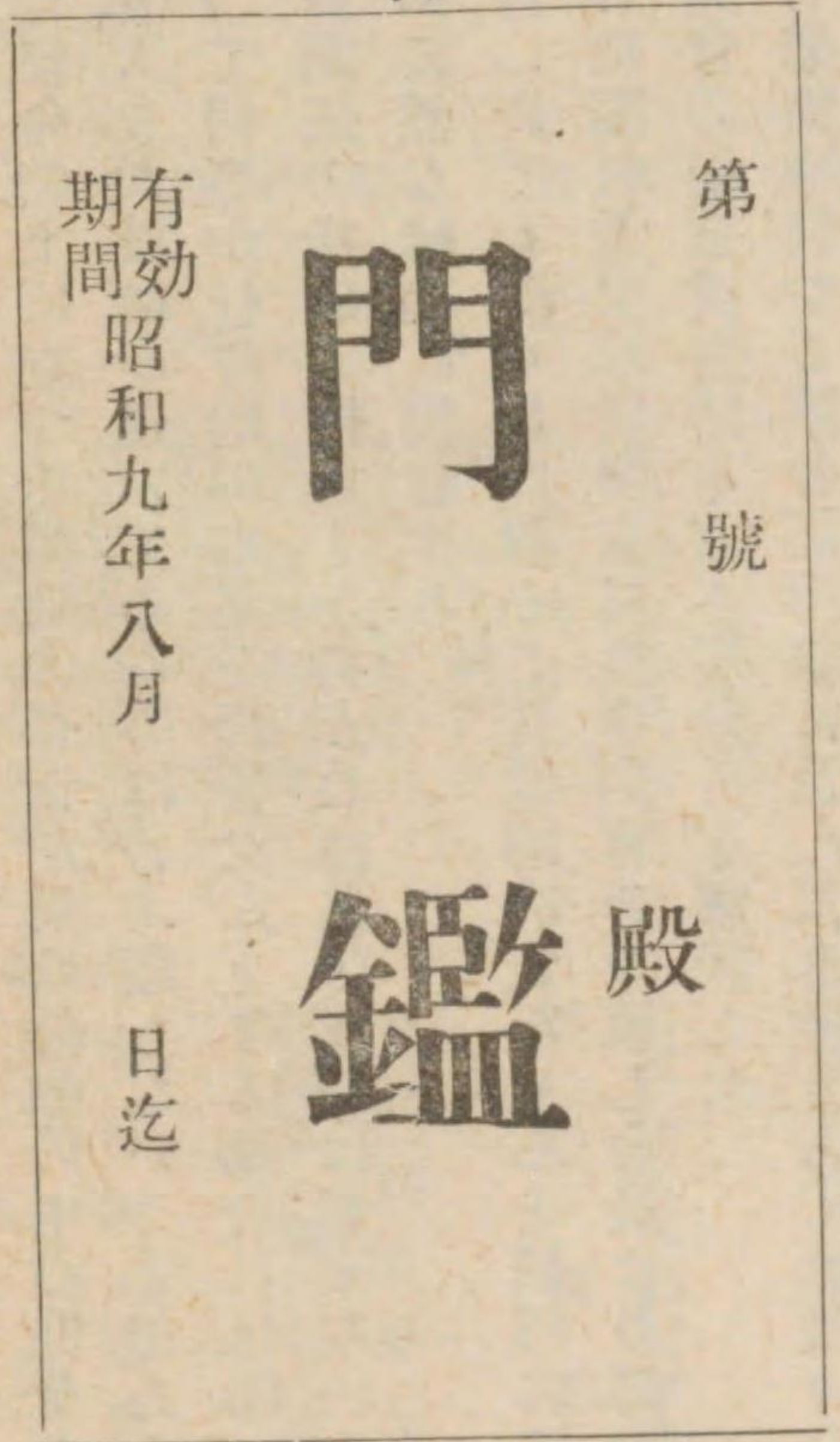
限回一人一



85 X 75

一四五

表



徽章

一四四

第一會場

日滿興産博覽會

小人入場券

會期 自昭和九年八月一日
至昭和九年八月二十日

金十錢

85×75

第二會場

日滿興産博覽會

小人入場券

會期 自昭和九年八月一日
至昭和九年八月二十日

日滿興産博覽會

間夜

大人入場券

自八月一日
至八月廿日

第二會場

錢拾金

90×60mm

日滿興産博覽會

間夜

小人入場券

自八月一日
至八月廿日

第二會場

錢五金

90×60mm

一四六

小人ハ此券一枚ニテ二人迄入場出來マス

親鸞上人御代記

マラオジ

博覽會場内特別館

觀覽券

大人
錢十二金

80×60

主催日滿興産博覽會
協賛旭川眞宗青年會

自八月一日
至八月二十日

親鸞上人御代記

マラオジ

博覽會場内特別館

觀覽券

小人
錢十金

主催日滿興産博覽會
協賛旭川眞宗青年會

自八月一日
至八月二十日

日滿興産博覽會

團體入場券

第一會場

人員 大人 一人
小人 一人
料金 圓 錢 第二會場

115×70

入場者

會期中は恰も納涼散策の好期節なりしも其の前半は曇雨天に災されしも後半幸ひ快晴に恵れ各館の施設宜しきを得燦爛たる五彩の電飾照明は不夜城の壯觀を呈し煙火大會盆踊りは万斛の涼味をそより目新しい演藝等と相待つて連日連夜隆盛股賑を極め平素殆んど人影を認めざる埋立地一帯は會期中全くの納涼歡樂の境地と化した
今その入場者を表示する

二、入場者數調

月八	月日	會場別	大人	小人	軍人	團體	優待	合計	累計
第一	第一	會場	四六	七九	五	一〇三	五	六八	六二八

月八	日四月八	日三月八	日二月八	日一
第一會場	第一會場	第一會場	第一會場	第一會場
第二會場	第二會場	第二會場	第二會場	第二會場
第三會場	第三會場	第三會場	第三會場	第三會場
計	計	計	計	計
二、七〇	一、五三〇	一、八五六	一、八五八	四三八
七三五	三、八五	一、六四	一、七九	八六
四〇三	一、六	一、三	一、四	三
一五九	一、四	一、三	一、三	一〇三
一六五	七五	三六	四	九
四、二二	二、二四	一、二八	一、一六	六元
九、〇八	四、八五	二、七二	一、八〇	八六
一、五八〇	一、四〇九	六、七〇	三、九四	一、四七四
二、三六	二、〇九	六、七〇	三、九四	一、四七四

一四七

一、演藝館ノ設備

本館第二會場内に附屬するものにして無料公開をなす、舞臺バック、照明何れも手落なく觀覽者の視野を慰すに絶好の機關であつた、觀衆席は椅子式とし開會式、閉會式には式場として用ひられ福引抽籤場としても用ひられた

二、演藝ノ上演

イ、長唄、清元

①三和兩見番美妓連の出演にして會期中午後三時より一日交替に上演し晝間演藝の花であつた
又留萌見番の特別出演も好評を博した

ロ、童謡舞踊

小樽ドングリ會、北海ハーモニイ協會、小島舞踊團、青い鳥の會、何れも個性を發揮した舞踊で上演者の熱心さは實に大きなものであつた
殊に小樽ドングリ會の出演及青い鳥の會の指導者自らの出演は觀衆によりより好意を與へた
特に演藝に關しては北海ハーモニイ協會佐藤正治氏の献身的指導努力に依つて童謡舞踊が本會の人氣の中心になつたことを感謝する
ハ、大衆演藝

演藝館の大呼物として觀衆に驚異の目を見はらしたの東京杵屋一行の大演藝である
幾多ある斯の種演技中恐らく最高線を行くものとして賞讃を博し忽ち本會の花となつた然かも多くの珍らしい演藝をこんな所で見られるのは本當に思ひがけない事だとの感を深くした
又これに次ぐものに小町屋劇團の演出も仲々の好評を添へた
ニ、其の他旭川四絃會の琵琶三曲合奏等種々様々な演出を見る、民謡競演大會、全國御詠歌大會等此の機會に得られた事を喜ばしく思ふ
特に熊祭及若人の胸を轟かす拳闘大會等一大人氣を得たものである

上演プログラム

日程時刻	種	目	上演者
一 前十一時	齊唱		北海ハーモニイ協會唱歌隊
	長唄		三和見番
			丸サ見番
			旭昇會
			青い鳥の會
			榮光絃樂團
			旭川四絃會
後七時	筑前琵琶		
	童謡舞踊		
	絃樂		
	錦心流琵琶		

三曲合奏	山本貴美勢社中	五 前七時	爆笑の夕べ	小町劇團
童謡舞踊	青い鳥の會	五 前十時	新喜劇	小町劇團
ハーモニイカ合奏	市街軌道音樂部	後三時	長唄清元	丸サ見番
舞踊	旭川眞宗青年會女子部	四時	民謡	北海ハーモニイ協會
舞踊	旭川大谷派日曜學校生徒	四時	童謡舞踊	北洲會、冬玉會、矯風會
民謡	三浦なを子 澁谷庄玉	七時	童謡舞踊	青い鳥の會 出演の夕べ
二 後一時	長唄、清元	六 正十二時	喜劇奇劇漫談	小町劇團
三時	民謡	後二時	長唄、清元	三和見番
四時	舞踊	四時	童謡舞踊	北海ハーモニイ協會
七時	錦心流琵琶	七時	全道民謡競演大會	留萌見番
	童謡舞踊	七時	民謡、小唄	丸サ見番
	絃樂クワルテット	二時半	長唄	丸サ見番
三 曲	榮光絃樂團	四時	童謡舞踊	北海ハーモニイ協會
ハーモニイカ合奏	鈴谷滿津社中	四時	清元、長唄	丸サ見番
尺八合奏	市街軌道音樂部	七時	童謡舞踊	小島舞踊團
舞踊	伊藤彩山社中、皆川紗山社中	八 正十二時	大演藝	東京杵屋一行
民謡	眞宗青年會女子部	後四時	童謡舞踊	北海ハーモニイ協會
	大谷派日曜學校生徒	七時	大演藝	東京杵屋一行
	國原洲月、渡邊錦遊	九 正午		
三 後一時	長唄、清元	後三時	長唄、清元	三和見番
三時	舞踊	後七時	大演藝	東京杵屋一行
七時	童謡舞踊	十 正午		
	北海ハーモニイ協會	後三時	長唄、清元	丸サ見番
	小町劇團	後七時	大演藝	東京杵屋一行
四 正午	万歳喜劇、手品	後七時	大演藝	
後三時	童謡舞踊			
四時	民謡			

十一	正午	童謡舞踊	小樽ドングリ會
後三時	舞踊	青い鳥の會	
後七時	大演藝	東京杵屋一行	
十二	正午	長唄、清元	
後三時	大演藝	三和見番	
後七時	大演藝	東京杵屋一行	
十三	正午	長唄、清元	
後三時	舞踊	丸サ見番	
後四時半	舞踊	青い鳥の會	
後七時	大演藝	旭川四絃會	
十四	正午	清元、長唄	
後三時	舞踊	東京杵屋一行	
後四時半	舞踊	三和見番	
十五	正午	清元、長唄	
後二時	童謡舞踊	青い鳥の會	
後四時	民謡	共遊會、旭市會	
後七時	大演藝	四絃會	
十六	正午	大演藝	東京杵屋一行
後二時	長唄、清元	丸サ見番	
後七時	民謡	北海ハローモニー、小島、青い鳥、總出演	
後三時	舞踊	共遊會、旭市會	
後四時半	舞踊	四絃會	
後七時	大演藝	東京杵屋一行	
十一	後二時	長唄、清元	
後三時	童謡舞踊	童謡舞踊	
後七時	民謡	民謡	
十二	正午	大演藝	
後三時	童謡舞踊	童謡舞踊	
後七時	大演藝	大演藝	
十三	正午	長唄、清元	
後三時	舞踊	舞踊	
後四時半	舞踊	舞踊	
後七時	大演藝	大演藝	
十四	正午	新派	
後三時	新派	新派	
後四時半	新派	新派	
後七時	新派	新派	
十五	正午	閉會式	
後十時	閉會式	閉會式	
後十一時	清元	清元	
後一時	長唄	長唄	
後三時	舞踊	舞踊	
後七時	拳闘大會	拳闘大會	
十六	正午	閉會式	
後十時	閉會式	閉會式	
後十一時	清元	清元	
後一時	長唄	長唄	
後三時	舞踊	舞踊	
後七時	拳闘大會	拳闘大會	

各種催シ物

日程	時刻	種類	摘目	摘要
一	前九時半	開會式	第二會場演藝館	
二		佛教聯盟大會		
三		懸賞募集	第二會場内	
四		花火大會	常盤公園	
五		全道寫眞師大會		
六		方面委員大會		
七		變裝美人探シ(一日)	第二會場内	
八			サロン旭川、民子、宮子	
九		活動寫眞開始	第二會場内(トッキー)	
十				
十一	後七時	美人探シ	日輪弘子、銀子	
十二	前八時	前賣福引券抽籤	第二會場演藝館にて	
十三	後二時	熊祭り	第二會場内	

三、小供ノ世界

本會に於ては第二會場内に子供を主たる對象とした設備の必要を認め兒童の心理に好刺戟を與ふべき趣味豊にして動的なるものを選んで子供の世界と名付けた遊戯場を施設したのであるが此の遊戯場は可憐な子供等の理想郷として著大なる喝采を浴び非常な人氣を博した其の施設は左の如し

動物園

第七師團の好意に依る驢馬、アイヌ部落よりの熊其の他有志の出陳等三十餘種の鳥獸類を飼養に驢馬には希望者に試乗を許した

メリーゴランド

山室勇氏の好意に依る施設であつて電動機による象形メリーゴランドで小供世界には適はしい施設であつた

計	二 三 才	二 一 才	二 一 才	二 一 才	二 一 才
計	二六	二	四四	七二	
第一會場	二六	二	四四	七二	
第二會場					
出札掛	三名	出札掛	二名		
事務室	二名	滿洲館	三名		
土産品即賣室	四名	南洋館	二名		
陳列室	四五名	樺太館	二名		
美術展覽會	二名	演藝館	一名		
繪葉書賣場	一名	ジオラマ館(出札共)	五名		
計	五七名	計	一五名		
合 計	七二名				

ハ、配 置

本會に於て採用した女看守總人員七十二名である
看守割當表を示せば左の通りである

第一會場
出札掛 三名
事務室 二名
土産品即賣室 四名
陳列室 四五名
美術展覽會 二名
繪葉書賣場 一名
計 五七名

第二會場
出札掛 二名
滿洲館 三名
南洋館 二名
樺太館 二名
演藝館 一名
ジオラマ館(出札共) 五名
計 一五名

合 計 七二名

其の他第一會場では別に
釧路 二名
留萌 一名
網走 一名
帯廣 一名

自營看守及即賣に使用した
ニ、勤務心得

消防組員の奉仕的努力によるものと云はねばならぬ

五、衛 生

イ、塵芥掃除及撒水

場内の清潔を保つ爲常に四名の掃除婦を置いて掃除をな
さしめ、館内及各室は看守がそれ〴〵分擔し開會前に掃
除を施行し紙屑、塵芥等を一定の容器に收め特設館收容
の塵芥と共に之を場内に搬出せしめ開場中之が清淨保持
に努めしめた

撒水は會場内通路並空地の塵芥飛散を防ぐ爲ポンプによ
り行ひ回教を定め乾燥の程度に従つて撒せしめた
ロ、便所第一會場に二ヶ所、第二會場に一ヶ所、第三會場
に一ヶ所の共同便所を設け毎日一回自至二回便所内外の
掃除をなし防臭殺菌劑を撒布せしめ消毒を怠らなかつた
ハ、飲食物類取締

會場内に於ける飲食店、其の他の飲食物販賣者は派遣せ
られた警察官がこれに當りたる爲、不良飲料水腐敗物又
は暴利を貪る者もなかつた

日滿興産博覽會衛生

關係實施方案

一、一般衛生及救護に關する事項

看守人は陳列品を嚴重に看視しその賣約を取扱ふの重責
を有する爲忠實に勤務し容姿を整へ風儀を保つ必要あ
るを以て看守服務規程を遵守せしめた

三、守 衛

本會の各種取締には八名の守衛を採用し之に二十八名の旭
川商業學校生徒を配屬し其の衛に當らしめた
之が採用に當つては別に試験制度を設け志望者の提出せ
る履歷書により之迄の職業閱歷等を參酌し適當とする者を
選拔し守衛規程に従ひ配置した

四、火 防

本會々場の建築は其の外觀甚だ美麗であるが其の大部分は
木造にて出來てゐる爲万一不幸にして失火したる場合は延
焼度の急速なる事は實に戰慄すべき事である
殊に第二會場は假建物とは云へその建物内には大切なる出
品物其の他あらゆる施設に對し完全なる防火保全の設備を
なす爲各館の構造、通路及非常口等に注意を拂ひ消防詰所
を設け第七部消防員及自動車ポンプの駐屯を得場内取締の
警察官吏と連絡し場内を巡視せしめ専ら火氣取扱の豫防に
努め其の他場内の要所に非常用水を五ヶ所消火液二十ヶを配
置して万一に備へた

前後二十日余に亘つて重大なる事故を見なかつたのは一に

イ、市警並看護婦は毎日別表に依り博覽會場に出場する
ものとす

ロ、當番市警看護婦は所定の時間内に(自午前八時至午
後五時)適宜會場に出場すること

ハ、急救を要する患者發生したる場合は係員に於て近親
者に通報すると共に應急救護の方法を講ずべし

ニ、衛生室には臨時患者を收容するに足る設備を爲し尙
急救用品を準備すること

ホ、救護其の他に關し經費の支出を要する場合は所定の
手續を経ることを要す

ヘ、衛生係に日誌を備へ左記事項を記録し關係部長の檢
閲を受くるものとす

- 1、當番市警並看護婦氏名
- 2、衛生係員其の他主なる來訪者の氏名
- 3、醫事衛生に關する事項
- 4、一般衛生に關する事項
- 5、經理に關する事項

出場醫員並看護婦割當表

割 當 日	當番醫員	當看護婦
自八月 一日	濱 松	高 石
自八月 五日		
自八月 六日	高 橋	玉 木
自八月 十日		

自八月十一日
至八月十五日
自八月十六日
至八月二十日

廣安
伊藤
須田
小松

六、救護

本會々期中は日々多數の觀覽者に依り急病者又は負傷者を出す虞あるを以て是等の事故發生を慮ひ救護所を設置し毎日旭川市診療所醫師及看護婦の派遣を受くる事になつた救護所は第一會場内入口近くに設け常備の寢臺其の他諸器具、藥品を設置して救護の任に當らしめた

救護者疾患類別表

病類	患者數
頭痛	一六人
腸痛	四六人
喉答	六人
眼病	一人
腦傷	一人
外傷	一人
其他	一人
合計	一二三人

日滿博の會誌編輯も漸く終ることが出來た。然し此の編輯は公務の傍ら執事した爲事務の繁忙に押されて思ふ様に推敲も出來ず、従つて内容に於て文體に於て將又配列體裁に於て多々遺憾の點を存して居るが之等は大方各位の諒恕を得たい。只本會誌が斯の益況を極めた當時を偲び其の概要を後日に傳ふる資料の一助ともなれば幸甚此の上もない。一つの事を纏め上げた後の心地は軽く爽である

昭和九年十一月 日

旭川市産業課に於て一編輯子



昭和十年三月一日印刷
昭和十年三月五日發行

非賣品

旭川市役所内
編輯兼發行者 田中 鉦雄
印刷者 旭川市二條通五丁目 坂野 伊之吉
發行所 日滿興産博覽會

122N-29

122N-29

